

# 令和4年大磯町議会

## 9月定例会一般質問（9月8日・9日）

質問議員	質問事項（1日目）	答弁者
<p>1 2番 吉川 重雄議員 （90分） 9:05～10:35</p>	<p><b>1. 町長の町民不在の行政運営を問う</b>            （1）法人内部の混乱が露見した社会福祉法人大磯町社会福祉協議会への町の対応について            （2）一般質問における不誠実な答弁について            （3）議員に対する情報提供のあり方に問題はないか。            （4）公約が破綻した責任が、未だに果たされていないのはなぜか。            （5）新型コロナウイルスが感染拡大しているが、町の町民への対応は十分か。</p>	<p>町長</p>
<p>2 13番 鈴木たまよ議員 （70分） 10:55～12:05</p>	<p><b>1. 町の二酸化炭素排出削減目標について</b>            気候変動の問題が年々深刻化する中、7月に行われた総務建設常任委員会協議会で協議された『大磯町環境基本計画』骨子案の中で、町は「令和32（2050）年度までにカーボンネガティブを目指す」とあった。            大磯町のおよそ7割を占める山林は、二酸化炭素の吸収及び安定化に大きく貢献すると思われるため、山林を健全に保つことにより二酸化炭素の削減が期待できる。            しかしながら、今、山の砂漠化が急速に進んでいる。ここ数年問題となっている「ナラ枯れ」についても、山の砂漠化が主な原因だという専門家もいる。二酸化炭素の削減はもちろん山林だけが担うわけではないが、山林の健全化は最も効果的で環境負荷もなく、また永続的な二酸化炭素の吸収と安定化に繋がると私はそう信じている。            骨子案の中で挙げられている「吸収源対策の推進」を中心に、町が今後どのようにカーボンネガティブを実現させていくつもりなのか。その方向性と進捗状況について伺う。</p>	<p>町長</p>
<p>3 5番 吉川 諭議員 （90分） 13:05～14:35</p>	<p><b>1. 自然の仕組みを基礎とする豊かな町づくりにどう取り組むか</b>            これまで町が過去に行ってきた各種アンケートや調査などをみると、大磯に暮らす人々が豊かな自然と住環境に魅力を感じてきたことは明らかである。一方、その自然や環境、生態系を守り、育むために町としての取り組みは十分と言えるだろうか。「生物多様性」をキーワードに環境基本計画及び緑の基本計画の改訂、生物多様性地域戦略の策定について町の考えを問う。            （1）改訂を予定している環境基本計画の中にも出てくる「生物多様性」とはそもそもどのような概念か。また、これまで「生物多様性」について町ではどのようなことに取り組んできたか。            （2）近年、都市緑地法や都市公園法、生産緑地法などが改正され、公園等における民間導入が全国的に活発になっている。このような状況を踏まえて緑の基本計画を改訂し、市民緑地認定制度を導入して町内における民間緑地の維持管理について意欲ある民間団体が関与できるようにすべきではないか。</p>	<p>町長</p>

	<p>(3) 治水などの公共工事についても、従来のようなコンクリートを用いた工法だけでなく自然環境や生態系にも配慮した工法を町として積極的に取り入れるべきではないか。</p> <p>(4) 生物多様性地域戦略の策定形態にはどのようなものがあるか。</p> <p><b>2. 農産物直売所について</b></p> <p>大磯町公共施設等総合計画改定案及び第1期個別施設計画改定案についてパブリックコメントが行われた。その中で、城山公園第一駐車場前に位置する農産物直売所についての意見が多数寄せられ、それに対して町の考え方も示されているが、果たして真摯な対応といえるか疑問である。存続に向けた建設的な議論が必要であると考え、以下の点について伺う。</p> <p>(1) そもそもパブリックコメントとは何を目的として行うのか。</p> <p>(2) 農産物直売所の運営と維持管理に町からの予算は年間でいくらかかっているのか。過去5年間の実績値は。</p> <p>(3) 農産物直売所の利用者数や年代、また意見などを把握しているか。</p> <p>(4) 農産物直売所の行政効果を町はどのように考えているか。</p>	町長
<p>4</p> <p>8番 鈴木 京子議員 ( 90分 ) 14:55～16:25</p>	<p><b>1. 町長の任期満了までの政治判断は</b></p> <p>町長の任期は12月14日までである。町長選挙の結果に関わらず、任期満了まで行政の透明性の確保と決定が求められると考える。以下4点について、見解を求める。</p> <p>(1) 政策決定、契約等、多くの判断が可能だが、課題をどう整理し、実行するのか。</p> <p>(2) 駅前広場整備はいつ、何をどのように決定するのか。</p> <p>(3) 国府新宿の町有地売却中止の理由に、介護保険施設の整備をあげたが、何か見通しはあるのか。</p> <p>(4) 新庁舎建設について、町長が計画に反映したい思いはあるのか。</p> <p><b>2. PCB特別措置法対策は万全か</b></p> <p>PCB特別措置法によるPCBの処理が最終局面を迎えている。以下の2点について所見を問う。</p> <p>(1) 町が所有するPCB含有物の処理状況と今後の対応について</p> <p>(2) 旧NCR跡地の地下タンクに保管されているPCB汚染土壌の位置付けと住民の不安に応える対策は。</p> <p><b>3. 国葬について</b></p> <p>安倍晋三元首相の国葬について、反対の声が上がり続けている。法的根拠もなく、閣議決定を理由に執り行うとされる国葬は、憲法上にも問題があると指摘されている。教育現場も含め、町民に弔意の強要があってはならないと考えるが、現時点で通知等は届いているか。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長 教育長</p>

質問議員	質問事項(2日目)	答弁者
<p>5 3番 石川 則男議員 (90分) 9:00~10:30</p>	<p><b>1. 社会福祉法人大磯町社会福祉協議会について</b></p> <p>(1) 社会福祉法人大磯町社会福祉協議会(以下「社協」という)は、令和4年1月に元包括支援センター職員から退職金未払いに関し裁判所に訴えられた。 この裁判も令和4年6月和解案により裁判は終わった。このことから令和3年3月末、包括支援センター職員全員が退職し、混乱を生じさせた社協幹部に対し、監督・指導すべき時期がきたと考えるが、町としてどう対応する考えか。 社協職員がこの件にどう関わっているか分からないが、職員には生活があり雇用は守られなければならないと考えるが、町の見解を聞きたい。</p> <p>(2) 町は6月議会において、令和5年度の包括支援センター事業についてプロポーザル方式を採用すると発表した。このような問題を生じさせた社協幹部がいる法人に大磯町の福祉事業を委託する考えがあるか聞きたい。</p> <p>(3) 7月・8月、職員から告発文や要望書が多方面の方々に送られているが見ているか。</p> <p>(4) 告発文や要望書が区長にも送られており、数名の区長から相談を受けた。区長会役員会において8月の区長定例会の議題としてほしいとの話を聞いていたが、町民課の指導で議題から外されたと聞いているが、事実か。それは町長の指示か。</p> <p>(5) 社協からの依頼で会費や募金を集めている町内会から、集めることを止めようという声が上がっているが、このままでよいと町は考えているのか。 このままでは第二の給食問題となり全国紙に載りかねないと危惧しているが、それでもよいと町長は考えているのか。</p>	<p>町長</p>
	<p><b>2. 電磁波過敏症で苦しんでいる町民にどう手を差し伸べることが出来るか</b></p> <p>電磁波による健康被害は未だ法的な証明はされていないが、フランス等では影響を受けやすい子供に対する規制が作られている。鎌倉市はじめ、20に上る自治体が携帯電話中継基地局に関する条例や要綱を作成しており、また携帯電話会社に対し、要請書を提出している自治体も3自治体ある。大磯町では、陳情が採択されて以降、議会において閉会中の所管事務調査を実施した。その後、町として具体的な検討事項・アクションがあれば聞きたい。</p>	<p>町長</p>
	<p><b>3. 町民のささやかな要望にどう応えるか</b></p> <p>(1) 西小磯89-10付近のサイクリングロード脇の街灯が切れていて階段を下りるのが怖いので早急に直してほしいとの要望があるが、町としてどう対応し、いつ頃解決できる見込みか。</p> <p>(2) 令和4年7月、大磯駅前整備事業についてアンケート調査を行ったがその結果について町民説明会は実施するのか。また、実施するとす</p>	<p>町長 教育長</p>

	<p>ればいつ頃実施するのか。</p> <p>(3) 東の池バス停の安全と桜の木を残してほしいとの町民要望に対し、県が行うのでどのような形になるか分からないと答えていたが、何度も要望しないと検討すらしないのが町の姿勢か。今後どう知恵を絞る考えか。</p> <p>(4) 中学校給食が白紙になったままである。学校施設の維持管理が不十分であり、優先順序を給食より先に行ってほしいとの要望があったため町は説明している。また、昨年の学校施設長寿命化において大磯中学校1号館はコンクリートの強度が低く長寿命化は適切ではないと文部科学省に提出した。いつ建替えるのか。 その建設の中に給食施設を作ることは独立した給食施設を作るより低コストでできるのではないのか。</p> <p>(5) 大磯幼稚園のこども園化について、なぜ町民が町立のまま行ってほしいとの声を無視するのか。</p>	
<p>6 10番 飯田 修司議員 (70分) 10:50~12:00</p>	<p><b>1. 中崎町長の観光政策を再度問う</b></p> <p>(1) 旧吉田茂邸 5億4千万円をかけ、開園5年が経過し、観光事業収益を見込んでいないというが、毎年、関連事業等に数千万円をつぎ込んでいるが、有効に活用されているか。 御殿場市の東山旧岸邸のように成功例が身近にあるが、町は御殿場市に状況を聞いたことはあるのか。</p> <p>(2) 大磯コネクト 1年目は収支がとんとんで収益が見込めなかった。 2020年12月の竣工式の後、「川場」による1Fの改造が行われ、「川場」の持ち出しで工事が行われた。この資金の回収が1年目の決算では出来なかったため、指定管理者「川場」の撤退がささやかれ、残り3年半あるが、大丈夫なのか。また、今後どのようにして事業収益を出していくのか。 昨今の高潮により、大磯港内の屈強なガードレールが破損したままになっている。昨年の一般質問の際に、建物の破損等には大磯町の公共の建物はすべて損害保険に一括で入っているの心配ないとの回答をいただいた。毎年のように数千万円の損害が発生することが予想される大磯コネクトに、保険の適用があるのか確認されているか。ちなみに年間の掛け金の総額はいくらか。</p> <p>(3) 大磯らしい潤いづくり協議会について 6月の一般質問の際に、担当部長より、共同事業者として、東武トップツアーズに大磯らしい潤いづくり協議会の事務局を担っていただいているとの回答だったが、今回の秋の祭典に東武トップツアーズの名前がないのはどういうことか。</p> <p><b>2. 中崎町政12年間で大磯町民が望む事業を公約に掲げ、そのうち、何を成し遂げたか</b></p>	<p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p>

<p>7</p> <p>6 番 二宮加寿子議員 ( 60 分 ) 13:00~14:00</p>	<p><b>1. 町の認知症対策や相談体制について</b></p> <p>2025 年には 65 歳以上の 5 人に 1 人が認知症になるとされている。 厚生労働省は関係機関との連携や相談業務を担う認知症地域支援推進員を活用し、当事者とその家族がより良い関係性を持って在宅生活を送れるよう、共に活動・交流する場を地域に設けて一体的な支援を始めている。これにより認知症の方、本人の意欲向上や介護の負担感の軽減など期待されている。また、地域の多職種や関係者が一体となり、訪問型の支援も含めた町の支援体制等を伺う。</p> <p>(1) 認知症予防に向けた事業の実施状況は。 (2) 認知症地域支援推進員を中心とした現状の支援体制は。 (3) 認知症カフェなど認知症の方やその家族が集まり介護についての情報交換ができる場の現状は。 (4) 介護、障がい、子育て支援、生活困窮などへの財政支援は。</p> <p><b>2. ひとりに寄り添う防災・減災の施策について</b></p> <p>近年、風水害や地震等の災害がいつ発生するかが分からない状況である。被災者一人ひとりの支援計画を作成し、伴走型で生活再建を後押しする「災害ケースマネジメント」がある。</p> <p>適時・適切な防災・減災が地方自治の中でも一層求められている。被災した一人ひとりに寄り添い何が困っているのか聞きとり、その上で、保健師、弁護士や建築士などの専門職と連携し、個々の課題に手立てを講じ、生活再建のサポートをする仕組みである。</p> <p>「災害ケースマネジメント」の構築は本町でも必要と思うが、重層的に支援する仕組みについての町の見解を問う。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>
<p>8</p> <p>15 番 渡辺 順子議員 ( 90 分 ) 14:20~15:50</p>	<p><b>1. 地域包括支援センターのプロポーザルについて</b></p> <p>「夏ごろには手続きを進めたい」と聞いていたが、その後の進捗状況は。社会福祉協議会との調整や他の委託事業について変更はないか。</p> <p><b>2. 大磯町独自の文化・芸術の発信や支援について</b></p> <p>大磯が持つ独自の文化・芸術の発信力についての 6 月の一般質問に対して、「郷土資料館ではこれまでも、澤田美喜記念館や鳴立庵に学芸員を派遣し、技術的な支援を行ってきた。町ゆかりの文化資源が町外に散逸しないよう、必要に応じた資料の保存や保護を行う。また残された邸宅の重要性も認識している。」との答弁だった。その後何か進捗はあったか。</p> <p><b>3. 個人情報保護条例の改正について</b></p> <p>令和 3 年 5 月に公布された「デジタル社会形成整備法」において、「個人情報の保護に関する法律」が改正され、来年 3 月末までに各自治体の個人情報保護条例が改正法に基づき策定されることになった。そこで以下の点について伺う。</p> <p>(1) 改正個人情報保護法に対応する町の基本的な姿勢について (2) 条例で検討すべき事項として、必須、任意、許容と分類されているが、新条例に規定する事項、規定しない事項は何か。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p>

